

広報

しんじょう

2
2007

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.590



第9回泉田フェスティバルで上演された創作民話劇「若返りの泉だぁ!」(1月21日/ゆめりあ)

- 夜間休日診療所を開設.....2
- 重点施策アンケート結果.....4
- 市営バス運行.....6
- 行政評価の結果.....8
- 各種委員会の委員公募.....10
- 新庄市表彰.....12
- 江戸だより/いきいき新庄人.....13
- しんじょう見聞録.....14
- 2月のお知らせ.....16
- 大人がはぐくむ子どもの心.....18

市の木[モミ]



昭和59年の市制施行35周年を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

「在宅当番医制」から定点化

夜間休日診療所を開設

時間外の応急診療を行う「新庄市夜間休日診療所」を保健センター内に設置します。毎日場所が変わる在宅当番医制を改めて定点化することにより、市民の要望に応え、新庄・最上地域の時間外診療体制の充実を図ります。

夜間休日診療所の概要

急な発熱など比較的症状が軽い人の応急的な診療を行います。

- 開設時期 平成19年3月26日(月)
- 開設場所 市保健センター内(ふるさと歴史センター南側)
- 診療科目 内科・小児科
- 診察時間 平日(月～土曜日) 午後7時～午後9時30分
休日(日曜日・祝日・年末年始) 午前9時～午後5時
- 医師 新庄市最上郡医師会、県立新庄病院、最上地域公立病院・診療所の医師が当番(1人)で診察にあたります

県・新庄最上地域の救急医療体制

一次救急医療

夜間や休日に比較的軽症の救急患者の外来診療を担当。手術や入院が必要な場合は、二次救急医療機関に転送。現在、新庄・最上地域は在宅当番医制により対応しています。

県内四地区において、夜間または休日の診療所が定点化(診療所を設けて場所を定める)されていないのは新庄・最上地域だけになっています。

二次救急医療

手術や入院が必要な重症救急患者を担当。県内三十八の救急告示病院が中心になって対応しています。新庄・最上地域では、県立新庄病院など五つの病院が指定されています。

三次救急医療

心筋梗塞、頭部外傷など重篤救急患者の救命蘇生診療を担当。県立中央病院と公立置賜総合病院の救命救急センター、山形大学医学部附属病院が県内全域に対応しています。

不十分な機能分担

新庄・最上地域の救急医療体制の問題点の一つとして、一次と二次の役割分担が不十分な点があげられます。

一次救急医療を担う現在の在宅当番医制は「場所が毎日変わるので行きにくい」などの理由から、利用患者数が少なく救急患者の七割をカバーするにとどまり、六割以上の本来一次医療機関で対応すべき軽症患者の多くが県立新庄病院に集中しています。この状況は、二次救急医療機関として重症患者を診るは



▲市保健センター

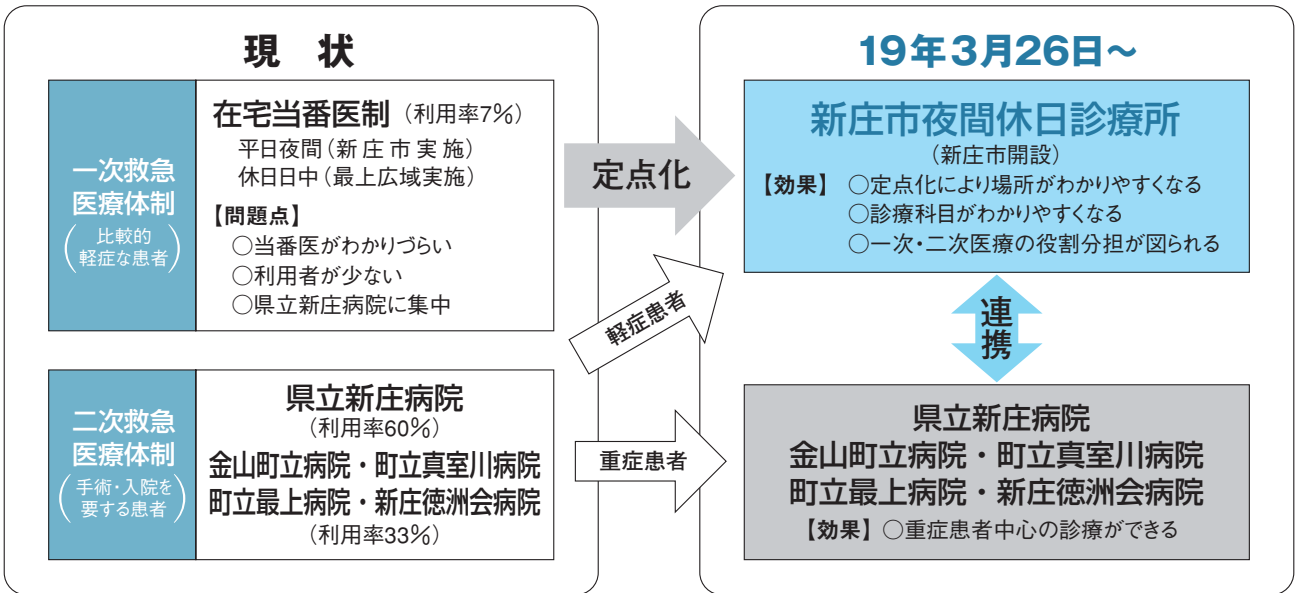
ずの県立新庄病院の機能が十分に果たせてないといえます。

市民の要望

十六年度に市が行った市民認識度調査で、市民が最も重要とした施策は「保健医療の充実」でした。その中でも「救急医療体制の充実」を求める声が多く出されました。

《意見・要望の中から》

- ・夜間救急体制を確立すべき。現在の在宅当番医制を改善してほしい
- ・急病の時、当番医はどこなのかわからなくて結局県立新庄病院に行ってしまう
- ・救急で県立新庄病院に行ったが長く待たされ大変な思いをした
- ・夜間救急について安心できる体制



夜間休日診療所の開設に寄せて

このたび新庄市夜間休日診療所が開設される運びとなりました。これは、新庄市、山形県などの行政機関、医師会、管内病院診療所の先生方、その他関係機関の多くの方々のご尽力、ご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。夜間休日診療所は、市民の皆さまの要望のもとに開設されるものであり、時間外初期診療体制の確立、市民の不安の解消、増え続ける二次病院の時間外診療の緩和などが期待されております。

市民の皆さまから効果的に利用され、地域医療の一環を担うことを願っております。



山形県立新庄病院
院長
中嶋凱夫氏

財政厳しき折、夜間休日診療所の設置を英断した新庄市、運営を担当する新庄市最上郡医師会の皆さまに敬意を表します。

本診療所の開設により、新庄最上地域の救急医療の初動体制が整い、当院の救急外来の高次救急体制の能力がさらに有効活用されることになるものと思えます。

今後、地域の限られた医療資源を適切、有効に機能させるには、症状に応じて夜間休日診療所と当院を使い分けるなど、市民の皆さまの絶大なご理解と協力が必要です。地域の大切な財産として充実されることを期待します。

夜間休日診療所の開設準備にあたっておられます新庄市当局、新庄市最上郡医師会をはじめ関係者の皆さまのご努力に対し敬意を表します。

夜間および休日の初期救急診療体制は県内各地域共通の課題です。中でも平日夜間の初期救急診療を一定の診療所で実施するのは山形市に次いで二箇所目となり、他の地区に先駆けとなります。

利用される住民の皆さまのご理解のもとで、診療所が円滑に運営されることをお祈りし、開設に寄せる言葉とします。



新庄市最上郡医師会
会長
須藤俊亮氏

時間外診療体制を改善するため、夜間休日診療所を開設することにしました。新庄市最上郡医師会をはじめ、新庄・最上地域の公立病院・診療所の先生たちのご協力により、長年の懸案が解決します。

しかし、新庄・最上地域の救急医療体制の課題である医療機能の分担を推進していくには、患者の症状



最上保健所
所長
井安雄氏

症状に応じた受診を

をつくらしてもらいたい
・夜間も休日も救急診療は県立新庄病院に頼り過ぎ。個人病院との連携をとるべき
・小児救急について充実した医療体制を望む

市は、市民の要望に応え、地域の

にに応じて医療機関を選択するとう、市民の皆さまのご理解とご協力が必要です。

夜間・休日の時間外診療は、軽症と思われる場合は「診療所」、重症と思われる場合は「病院」というように症状に合った受診を心がけましょう。

◎健康課健康推進室
☎内線515

計画 重点施策アンケート結果

©政策経営課企画政策室 内線241

6. 稲作を主体とした生産性の高い複合経営を構築し、農業所得の維持向上を図る

稲作を主体としながら、園芸作物の導入等による複合経営の充実強化を図り、魅力とやりがいを実感できる農業経営を確立することに取り組んでいます。

【知っている＝23.6%、知らない＝71.8%、無回答＝4.6%】

取り組み内容	重要	満足	必要
販路拡大と地産地消	19.9%	5.6%	19.9%
担い手育成と共同経営	18.1%	1.9%	21.0%
農産物のブランド化	12.1%	2.5%	14.4%
園芸作物との複合経営	9.7%	8.1%	7.0%
畜産との複合経営	5.6%	2.6%	4.0%
その他	0.5%	0.0%	0.9%

7. 企業立地の促進・地場産業における経営基盤と競争力強化の促進を図る

企業誘致や地場産業の活性化を図り求職者の地元定着を促進することに取り組んでいます。

【知っている＝29.9%、知らない＝65.2%、無回答＝4.9%】

取り組み内容	重要	満足	必要
工業団地への企業誘致	20.8%	4.0%	14.4%
新産業の創出	16.0%	1.9%	18.0%
地場産業の活性化	15.3%	3.3%	15.0%
就職面談会の実施	13.7%	5.6%	14.3%
新事業創出への支援	4.9%	1.1%	9.9%
その他	0.4%	0.0%	0.2%

8. 雇用の安定と勤労者福祉の充実を図る

安定した雇用の場を確保し、勤労者の福祉向上・充実を図ることに取り組んでいます。

【知っている＝23.3%、知らない＝71.1%、無回答＝5.6%】

取り組み内容	重要	満足	必要
福利厚生 の 充実	27.5%	6.3%	20.2%
職業能力の開発	17.8%	2.6%	19.4%
就職相談活動の充実	13.9%	4.0%	13.6%
職業訓練の機会拡充	9.0%	2.6%	10.4%
勤労者金融対策の充実	4.6%	2.8%	6.5%
その他	0.5%	0.0%	0.9%

9. 家庭教育に係わる環境の充実を図る

子どもたちの家庭における教育の充実を図り、地域全体で学びはぐむ事業に取り組んでいます。

【知っている＝21.8%、知らない＝69%、無回答＝9.2%】

取り組み内容	重要	満足	必要
家庭と地域の連携強化	20.6%	6.5%	16.5%
子育て講座の開催	14.1%	4.0%	17.8%
家庭教育の啓発・相談	13.7%	5.3%	12.0%
保育士・教員等の研修	12.1%	2.1%	13.6%
ネットワークづくり	8.3%	1.1%	9.2%
その他	0.4%	0.2%	0.9%

10. いのちを大切に、共生の心を身に付けた新庄っ子を育成する

子どもたちがいのちを大切に健全に育つために、道徳・読書教育を充実させ、地域の教材・人材などを活用して体験的な教育活動を推進することに取り組んでいます。【知っている＝27.1%、知らない＝66.6%、無回答＝6.3%】

取り組み内容	重要	満足	必要
教職員の指導力等向上	22.0%	1.6%	24.3%
生徒指導と学力の定着	16.0%	1.9%	13.6%
道徳・読書教育の充実	15.1%	4.8%	12.3%
教育環境の整備	14.1%	5.6%	14.4%
児童生徒等相談事業	7.9%	3.7%	8.5%
その他	0.9%	0.0%	0.5%

11. ごみの分別、資源化、減量化を進める

資源循環型社会をつくるため、ごみの減量化、資源化に取り組んでいます。

【知っている＝73.2%、知らない＝20.1%、無回答＝6.7%】

取り組み内容	重要	満足	必要
ごみの分別の徹底	19.2%	10.7%	9.2%
リサイクルの推進	15.7%	13.2%	14.8%
生ごみ活用のたい肥づくり	15.5%	4.0%	20.4%
不法投棄防止	15.1%	1.1%	18.7%
ごみの収集方法	6.7%	12.1%	5.8%
その他	0.2%	0.2%	0.5%

新庄市振興計画後期5箇年基本

今回のアンケートは、平成18年3月に策定された第3次振興計画後期5箇年基本計画の中で重点施策とした11項目について、市民の皆さんにどれだけ知られているか(認識度)。また、重点施策とした内容が、重要だと思われるのか(重要度)・施策に満足しているのか(満足度)・これから必要になると考えているのか(必要度)を把握するために実施しました。

調査結果は、今後の行政運営のための基礎データとし、各種プロジェクト・事務事業などで活用しながら、市民の皆さんの声を生かした市政を行っていきます。

- 調査期間 18年8月中旬～9月15日
- 調査方法 無作為抽出
- 対象 満18歳～80歳の男女662人
- 回収数 284人(42.9%)

2. 中心商店街の活性化を図る

中心商店街の活性化や空き店舗の活用として手づくり長屋の事業や夢みらい支援事業等に取り組んでいます。

【知っている＝47.6%、知らない＝50.6%、無回答＝1.8%】

取り組み内容	重要	満足	必要
大型空き店舗活用	21.1%	2.1%	22.9%
魅力的な店舗	20.4%	2.5%	18.5%
回遊しやすさ	11.8%	5.3%	11.1%
空き店舗利活用への助成	10.4%	2.1%	12.7%
イベントの充実	5.5%	6.7%	6.5%
その他	1.1%	0.0%	3.5%

4. 子育て支援を充実する

保育所の運営や、子育てに関する相談や情報の提供など少子化社会に対応した子育て支援に取り組んでいます。

【知っている＝33.5%、知らない＝63.3%、無回答＝3.2%】

取り組み内容	重要	満足	必要
子育ての経済的支援	19.0%	2.6%	18.5%
学童保育の充実	14.3%	5.8%	13.9%
保育所・幼稚園の充実	14.1%	10.0%	10.7%
産休・育休の取得環境	13.4%	1.6%	15.1%
子育て相談の充実	11.3%	3.7%	11.6%
その他	1.1%	0.0%	1.1%

1. 都市機能の根幹である道路・街路の強化と生活空間の整備を行う

道路の維持管理、市道や河川の整備などの事業を通して地域間の交流やゆとりある歩行者空間の確保・景観に配慮した市街地の形成等に取り組んでいます。
【知っている＝34.5%、知らない＝64.1%、無回答＝1.4%】

取り組み内容	重要	満足	必要
歩道の整備	23.2%	5.6%	23.8%
市道の整備	22.0%	11.6%	16.5%
河川整備・管理	15.5%	3.7%	13.2%
公園や緑地などの管理	6.9%	11.3%	7.6%
市街地の形成	6.7%	8.5%	12.7%
その他	1.1%	0.0%	1.1%

3. 必要な医療を安心して受けられる体制をつくる

救急医療体制を整備し、誰もが安心して暮らせるために、夜間・休日の救急診療体制づくり等に取り組んでいます。

【知っている＝52.8%、知らない＝42.3%、無回答＝4.9%】

取り組み内容	重要	満足	必要
夜間休日救急診療	27.5%	7.2%	21.7%
県立病院の充実	21.0%	5.8%	19.4%
病院同士の協力体制	15.0%	4.4%	16.0%
小児科医増員対策	11.3%	2.3%	11.4%
かかりつけ医の普及	2.3%	8.5%	4.2%
その他	1.2%	0.2%	1.2%

5. 消流雪用水の安定した水源確保と流雪溝整備を推進する

冬でも快適な生活をおくるために、除排雪の対応や消流雪用水の水源確保、流雪溝の整備を進め、また、市民との協働による除排雪事業に取り組んでいます。

【知っている＝54.9%、知らない＝39.8%、無回答＝5.3%】

取り組み内容	重要	満足	必要
除排雪の強化	25.7%	7.4%	22.2%
消流雪溝の整備	19.5%	2.6%	18.3%
除排雪助成制度の充実	18.7%	4.9%	16.7%
水量確保と電気料負担	8.5%	3.0%	9.0%
流雪溝利用組織の拡充	4.8%	3.3%	8.3%
その他	0.9%	0.0%	1.2%

4月から運行します

市営バス『かむてん号』スタート

山交バス(株)の路線バス廃止にともない、高齢者など今までバスを利用してきた人の交通手段を確保するため、県立病院前～土内線、県立病院前～芦沢線の二路線に、四月二日から市営バス『かむてん号』を運行します。

市内路線バス運行状況

運行系統	欠損額(千円)		市補助額(千円)		乗車密度(人)		乗客数(人)		備考
	16年度	17年度	16年度	17年度	16年度	17年度	16年度	17年度	
県立病院～金山	15,387	1,269	0	0	3.9	5.0	88,221	138,247	国庫補助
県立病院(最上公園)金山	0	0	0	0	8.9	7.0	—	—	黒字路線
県立病院～肘折	13,503	9,880	0	0	3.1	3.7	53,709	61,996	国庫補助
県立病院～烏川	5,057	6,330	0	0	3.6	3.2	70,830	51,147	国庫補助
県立病院(沼の台)肘折	1,350	3,962	467	1,372	5.6	4.5	30,925	24,708	統廃合済
新庄～清水	775	753	486	472	3.7	3.4	6,127	4,080	統廃合済
県立病院～土内	5,176	6,637	5,175	6,637	2.3	1.5	14,664	8,748	廃止予定
県立病院～堀内	5,758	5,145	1,165	1,915	2.3	2.4	24,678	18,924	廃止予定
県立病院～舟形	3,981	2,548	765	539	2.0	2.5	28,545	27,300	廃止予定
県立病院(日下)羽根沢	5,661	4,829	477	640	2.9	3.1	37,585	33,252	廃止予定
4路線合計	20,576	19,159	7,582	9,731	—	—	105,472	88,224	
前年度比(%)	—	93.1	—	128.3	—	—	—	83.6	

※乗車密度は、走行総[※]や運行収入などを考慮し、平均乗車人数を算出したものです。1日の輸送人員(乗車密度×運行回数)が15人以下になると国庫補助対象外となり、乗車密度が1.5人未満になると県補助基準の対象外となります。

市内の路線バスの現状

路線バスは、通勤、通学、通院などわたしたちの日常生活を支える公共交通機関として重要な役割を担ってきましたが、マイカーなどの普及により昭和四十一年をピークに利用者数が年々減少しています。

このため現在、市内を運行している路線バス八路線のうち七路線が赤字運行となっています。これまで山交バス(株)は運行を継続していくために、路線の統廃合や減便などにより対応してきましたが、その経営努力も利用者の減少を止めることはできず、限界に達しています。

また、市は公共交通機関としての路線バスを維持するため、赤字運行となっている山交バス(株)に対し、赤字額の一部を補助金として補てんしています。その補助金額は十七年度決算で約千二百万円となり、十二年度の六倍と年々増加しています。

このような状況の中、平成十八年

二月、山交バス(株)から市に対し、市内で運行している四路線(土内線、堀内線、舟形線、羽根沢線)を十九年三月末で廃止したいとの申し出がありました。

市営バス導入の経緯

市は、申し入れのあった路線の利用状況を調査したところ、四路線とも乗車密度が低く、全く乗客がない便もありました。

四路線の存続については、山交バス(株)、関係自治体である舟形町、鮭川村と協議を重ねてきましたが、路線バスの利用状況や市の補助金の増加など、現状からいつて申し出を受け入れざるを得ないと判断しました。

しかし、路線バスは、通学に利用している児童や高齢者の通院、買い物などに必要な公共交通機関であるため、効率的で効果的な代替交通手段の確保を検討した結果、二路線で市営バスを運行するなど次のような対応をすることにしました。

4路線バス乗車状況

(単位:人)

運行系統	1カ月計乗車人数		1日平均乗車人数		1便平均乗車人数	
	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度
県立病院～土内	—	577	45.0	26.2	5.6	5.2
県立病院～堀内	664	258	29.0	11.7	5.8	5.9
県立病院～舟形	2,791	2,670	139.0	121.4	27.8	40.5
県立病院～羽根沢	1,891	1,721	92.0	78.2	15.3	19.6

※山交バス(株)調査による数値(17年9月、18年6月実施)

※舟形線/日新小児童70人が通学に利用、羽根沢線/鮭川小児童33人が通学に利用

●土内線・堀内線

市営バス運行

●舟形線

路線短縮による鳥越南へ県立病院発着での山交バス(株)運行

●羽根沢線

鮭川村営バスが県立病院まで乗り入れるため、村営バスを利用

◎政策経営課企画政策室

市内線241

土内線・芦沢線(市営バス)

【運行路線】

- 土内線 山交バス(株)運行時と同じ経路・停留所に二枚橋経路を追加しました。
- 堀内線 芦沢～県立病院前を発着した経路に変更し、「芦沢線」に名称変更しました。

【運行時間】

土内線は児童の通学時間を、芦沢線は高齢者の通院時間を考慮し設定しました。

【料金】

現在の山交バス(株)の料金、他市町村運営バスの状況や事務の効率性、負担の公平性などから利用者にもわかりやすい100円単位の2段階一律料金としました。

幼児(1歳未満は無料)・小中学生・障害者の料金は一律100円です。

【市営バス車両】

実態調査に基づき、最大乗車人数を上回る乗客定員14人のワゴンタイプの車両1台により「土内線」「芦沢線」を運行します。そのため、乗車定員以上の利用客があった場合は乗車をお断りする場合があります。



▲市営バスイメージ

●県立病院前・土内線(1日3便)

	運行時間(予定)	現在の運行
午前便	土内発7:40⇒県立病院前着8:20	土内発 7:15と8:45
午後1便	県立病院前発13:20⇒土内着14:00	新設
午後2便	県立病院前発15:45⇒土内着16:25	県立病院前発15:40

●県立病院前・芦沢線(1日2便)

	運行時間(予定)	現在の運行
午前便	芦沢発9:00⇒県立病院前着9:30	芦沢発 8:35
午後便	県立病院前発14:40⇒芦沢着15:10	県立病院前発14:00

●県立病院前・土内線

		降車地区	
		新庄地区 (県立病院前～六軒屋)	萩野地区 (吉沢～土内)
乗車地区	新庄地区 (県立病院前～六軒屋)	300円	500円
	萩野地区 (吉沢～土内)	500円	300円

●県立病院前・芦沢線

		降車地区	
		新庄地区 (県立病院前～野際団地前)	角沢地区 (一本杉～芦沢)
乗車地区	新庄地区 (県立病院前～野際団地前)	300円	400円
	角沢地区 (一本杉～芦沢)	400円	300円

鳥越線(山交バス株)・羽根沢線(鮭川村営バス)

【運行経路・停留所】

- 鳥越線 鳥越南～県立病院前／山交バス(株)運行時と同じ
- 羽根沢線 山交バス(株)運行時と同じ／市内の停留所は6カ所(あたご町、西山、北高口、仲町、新庄駅前、県立病院前)

【料金】

- 鳥越線 山交バス(株)運行時と同じ
- 羽根沢線 2段階一律料金

区分	利用料金	
	市内の乗降	その他
中学生、高校生大人	300円	500円
幼児、小学生	100円	100円

●鳥越線(1日3便)

	運行時間
午前便	鳥越南発7:20⇒金沢7:28⇒県立病院前着7:35
午後1便	県立病院前13:43⇒金沢13:50⇒鳥越南着13:58
午後2便	県立病院前15:28⇒金沢15:35⇒鳥越南着15:43

●羽根沢線(1日2便)

	運行時間
午前便	羽根沢温泉発7:35⇒あたご町7:59⇒県立病院前着8:11
午後便	県立病院前16:00⇒あたご町16:13⇒羽根沢温泉着16:36

経営感覚を取り入れた行財政運営と 市民サービスの向上を目指して 行政評価の結果を お知らせします

市民サービスのさらなる向上を目指すため、事業の目的や効果を評価・改善しながら効率的で効果的な行財政運営を図る「行政評価システム」。
新庄市では、平成15年度から導入し、今年度は17年度実施事業408件について評価を行いました。4年目を迎えた行政評価の取り組みについてお知らせします。

国と地方のあり方や経済的環境がめまぐるしく変化し、住民ニーズが複雑・多様化している中、市の財政事情は非常に厳しい状況にあります。

市政運営の主役である市民の要望に適切に応えていくためには、市の限られた財源と人的資源を生かしながら、効率的な行財政運営を行わなければなりません。

これらの状況に対応する方法の一つとして、行政評価システムのPDCA管理サイクルを確立することが、大変有効であると考え実施しています。

評価の目的

● **行政の説明責任と透明性の確保**
行政の事業内容や成果を市民に説明します。

● **行政の効率化**
限られた財源・人材の効率的な活用と、効果的な行政運営がで
きない要因を改善します。

● **職員の政策形成能力の向上**
目標とコスト意識の高揚など職員
の意識改革と政策形成能力の
向上を目指します。

評価の対象

何を評価するかについては、まちづくりの方向性から具体的実施内容までを示した政策、施策、事務事

行政評価システムとは

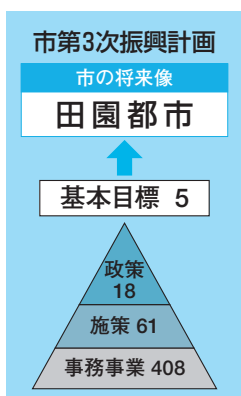
行政評価システムとは、どれだけの予算額や人員を投入して「どのような成果があったか」「当初予定していた成果が着実に上がっているか」など、行政活動の目的を明確にしながら行政活動の効果を数値化し、市民の視点に立って評価するものです。

管理サイクル[PLAN(計画)→DO(実践)→CHECK(評価)→ACTION(改善)]を行政活動に取り入れながら、行政の意思決定から評価・見直しまでの過程を明らかにする方法です。

また、評価結果を皆さんに公表することにより、行政の透明性の確保、市民と行政とのパートナーシップづくりなどに役立てていきます。

業の三つの行政活動がありますが、身近なわかりやすさから事務事業を評価対象としています。

事務事業評価の見直しを行いながら行政評価システムの習熟を図り、施策評価や政策評価にステップアップしていく計画です。そのため、今年度より施策評価を実施しました。



評価の方法

市民の視点(事業の有効性・必要性)、コストの視点(事業の効率性)、業務プロセスの視点(事業のプロセス

改善、組織人材の視点(事業の組織体制)の四つの視点で事務事業の達成状況の評価(絶対評価)し、その四つの視点をさらに、本来実施すべきか、計画どおり進んでいるかなど、項目別に評価(相対評価)しています。どちらの評価も客観性を持ち比較・検証しやすくするために点数化しています。事務事業の内容を多角的視点で評価したうえで、現状の課題・問題点を整理し、今後の方向性を見極めます。

また、前年度に実施した事務事業の結果を評価する事後評価だけでなく、今年度から事務事業の事前評価(目標設定)、事中評価(進行管理)を導入し、PDCA管理サイクルを確立することにより的確に事務事業の内容把握・状況確認に努めています。

評価結果一覧表

19年度に向けての方向性

※数字は事務事業の件数

総合判断									
17年度末 終了	18年度末 廃止	18年度末 休止	18年度末 終了	19年度 継続	19年度 拡大	19年度 縮小	19年度 コスト削減	19年度 統合	合計
6	2	1	2	364	24	1	7	1	408

主な内訳

区分	事務事業名	担当課	区分	事務事業名	担当課
17年度末終了	地域経済活性化計画事業	政策経営課	19年度へ向けた方向性	地産地消推進事業	農林課
	在宅高齢者生活支援サービス事業(※) (ホームヘルプ、ショートステイ)	福祉事務所		保育所運営事業	福祉事務所
	生きがい活動支援通所事業(※)			児童館運営事業	
	市史編さん事業	生涯学習課		水道課	原水および浄水事業
	プロ野球イースタンリーグ戦 「楽天VSヤクルト」開催事業	生涯スポーツ課			水道料金賦課収納事業
	市議会議員補欠選挙費	選挙管理委員会			図書館管理事業
18年度末廃止	知的障害者措置医療事業	福祉事務所	文化会館管理事業		
18年度末休止	水産振興支援事業費補助金 (旧淡水魚増殖補助事業)	農林課	コスト削減	市体育施設修繕事業	生涯スポーツ課
18年度末終了	森林整備地域活動支援 交付金事業			統合	雪に強いまちづくり支援事業
18年度末	担い手育成基盤整備事業 (県負担金・小泉)				
18年度末	担い手育成基盤整備事業 (県負担金・柏木山)				

(※)法改正により他事業へ移行したもの
 ◎詳細は、市ホームページ・施設などでご覧ください。
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

用語の定義

<ul style="list-style-type: none"> ●17年度末終了…17年度末で終了した事業 ●18年度末廃止…事業本来の目的を達成、または必要性が希薄になったなどの理由により年度末で廃止する事業 ●18年度末休止…当該年度以降、当分の間実施しない事業 ●18年度末終了…当該年度で終了する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●19年度継続…現状のまま継続する事業 ●19年度拡大…現在の事業規模を拡大して継続すべき事業 ●19年度縮小…手段・方法などを改善し、事業規模を縮小しながら継続すべき事業 ●19年度統合…他の事務事業と統合し、効率化を図るべき事業
---	---

◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。☎内線242 メール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

評価の主体

行政評価は事務事業の担当課が責任をもって評価しています。自己評価であり再評価(二次評価)は行いません。有識者や市民など、職員以外が評価する外部評価を実施している自治体もありますが、本市では評価精度を高めるため市内部での評価を行っています。

市振興計画審議会委員による第三次振興計画後期五箇年基本計画の進捗管理や、九月に実施しました重点施策に対する市民アンケートを外部評価として位置づけ、その結果を事務事業評価にも有効に活用しています。

評価結果の活用

これからの行政運営は、経営感覚を取り入れなければなりません。行政経営の基礎となるのが行政評価です。評価結果を、今後の予算編成などの財政運営や職員の適正配置に反映させていきます。

詳しい評価結果は、市のホームページや、政策経営課、市民プラザ、わくわく新庄、市立図書館でもご覧になれます。

今後とも意見をいただきながらより良い評価システム構築に向け取り組んでいきます。

あなたの意見を市政に! 各種委員会の委員を公募します

現在、市には約40の各種審議会や委員会があります。パートナーシップ型市政への転換という方針のもと、なるべく多くの市民が委員として市政に参画できるよう努めています。

委員公募制は14年度に導入し、現在、各種計画や指針などの策定では、公募枠を確保することを原則にしています。また、委員の中で女性が占める割合を30%に高めることを当面の目標に取り組んでいます。

●応募期限 2月28日(水)必着

●共通応募資格

- ①公益的な観点から意見を述べられる人
- ②市内に住所を有し、現に居住している人
- ③本市の他の審議会等の委員でない人

●応募方法

テーマ作文を添えて次の項目を記載した申込書を提出してください。①希望する審議会等の名称 ②住所、氏名、電話番号、性別及び生年月日 ③現在の職業・勤務先 ④経歴(職歴、学歴等参考となる事項) ⑤地域活動の状況 ⑥応募理由 ⑦テーマ作文(400～800字程度)

●提出方法 郵送、ファクス、電子メール、または持参して各担当課へ提出してください。

～公募する委員・問い合わせ先～

- 新庄市行政改革市民委員会…………… 3名程度
作文テーマ「行政改革に期待すること」
- 新庄市協働評価委員会…………… 1名
作文テーマ「市民と行政の協働について」
◎総務課 ☎内線215 FAX 22-0989
- 新庄市振興計画審議会…………… 1名
作文テーマ「振興計画に期待すること」
◎政策経営課 ☎内線241 FAX 22-0989
- 新庄ふるさと歴史センター運営協議会…………… 1名
作文テーマ「ふるさと新庄を誇りに思うこと」
◎歴史センター ☎22-2188 FAX 23-3734
- 新庄市民プラザ運営審議会…………… 1名
作文テーマ「生涯学習に期待すること」
◎市民プラザ ☎22-4200 FAX 22-4201
- わくわく新庄運営審議会…………… 1名
作文テーマ「わくわく新庄に期待すること」
◎生涯学習課 ☎内線461 FAX 23-5600
- 新庄市民文化会館運営審議会…………… 1名
作文テーマ「これからの文化施設のあり方について」
◎市民文化会館 ☎FAX 22-7029
- 雪の里情報館運営協議会…………… 1名
作文テーマ「これからの雪のふるさとづくりについて」
◎雪の里情報館 ☎22-7891 FAX 22-7860

新庄市水道事業中期経営計画 (平成17年度～21年度)

◎水道課 ☎内線351～357

【計画策定趣旨】

近年、人口の伸び悩みや節水意識の向上から、水道水の需要は減少傾向にあります。

これからの水道事業は、未普及地域の解消に向けた給水区域の拡大や普及率の向上、耐震性の強化などの災害対策や環境保護への意識の高まりなど、事業環境の変化に的確に対応していかなければいけません。

この計画は、21年度を目標年次とし、安全で安定性の高い水道水の供給を維持するために策定しました。

【事業計画】

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
給水人口(人)	35,987	36,490	36,900	37,720	39,360
年間総給水量(m ³)	4,295,229	4,262,032	4,229,109	4,240,482	4,338,653
1日平均給水量(m ³)	11,768	11,677	11,587	11,618	11,887

【中期財政収支計画】

(単位:千円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
収入	給水収益	1,034,827	1,033,052	1,031,247	1,040,212	1,070,629
	他会計補助金等	286,889	237,821	210,081	189,005	167,512
支出	人件費	122,004	121,000	121,000	121,000	121,000
	物件費等	1,114,772	1,065,957	1,072,557	1,068,985	1,063,834
経常損益	84,940	83,916	47,771	39,232	53,307	

【経営基盤強化への取り組み】

今後とも安全で安定性の高い水道水の供給を維持するために、給水地域の拡大と普及率の向上などを図るとともに、各浄水場の維持管理をはじめとした業務の民間委託など、事業経営を見直していくことによって一層の経費削減を図っていきます。

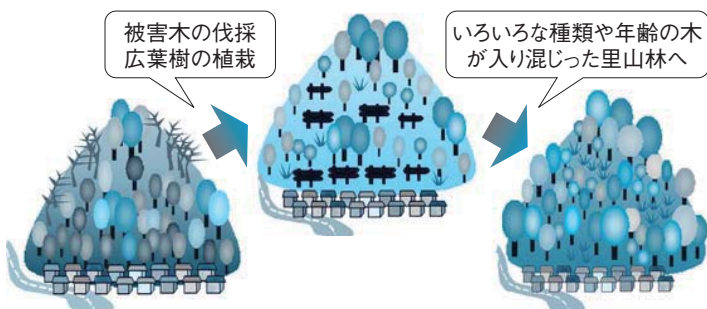
みんなが安心して暮らせるみどり豊かな「やまがた」のために 4月から「やまがた緑環境税」が導入されます

わたしたちが暮らす山形県は、美しい自然と山々に囲まれた地域です。そのなかでも森林は、県土面積の約72%を占めています。近年、手入れがなされず管理が放棄されたり、長期間利用されずに放置される森林が増加し、このままでは県民の生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。県民一人ひとりができることを自らの問題としてとらえ、森づくりを支えていくことが必要です。次世代の子どもたちに、かけがえのない財産として受け継ぐために、19年4月から「やまがた緑環境税」を導入し、「県民みんなで支える新たな森づくり」に取り組みます。

- 個人：年1,000円
(個人県民税均等割額に年1,000円を加算)
- 法人：資本金等の金額により年2,000円～80,000円(県民税均等割額に10%相当額を加算して申告納付が必要で、19年8月決算法人の予定・中間申告、また19年4月決算法人の確定申告から課税)

◎詳しくは、最上総合支庁税務課へ。☎28-7713

放置された病気害虫などにより 荒廃した里山林の再生などを行います



森林整備事業説明会

- 対象 森林を所有している人

日時	場所
2月26日(月)午後7時～	市民プラザ
2月27日(火)午後7時～	JA八向支所
2月28日(水)午後7時～	萩野地区公民館
3月1日(木)午後7時～	市民プラザ
3月2日(金)午後7時～	わくわく新庄

◎詳しくは、最上総合支庁森林整備課へ。
☎28-7724

危険! ルールを守って ごみ出しを



普段何気なしに出しているごみも一つ間違ると大変な事故につながります。

ごみ収集中のパッカー車(ごみ収集車)の車両火災が周囲を巻き込んだ惨事に発展することがあります。また、予定どおりの収集ができなくなり市民の皆さまに多大な迷惑がかかります。

●スプレー缶やカセットボンベ、ライターなどは、使い切った缶の収集のときにコンテナなどで出してください。ごみ袋では絶対に出さないでください。

●ストーブ、ガスレンジ、電化製品などに入っている電池は、必ずはずして電池専用回収容器に出すか、組合加盟の電気店、市環境課などにお持ちください。

●ファンヒーターなどをごみとして出すときは、灯油を抜き取ってから出してください。

※ストーブやファンヒーターなど、持ち込めば金属製資源物として無償で引き取ってくれる資源回収業者もあります。

◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線431



▲電池が入ったままのガスコンロ。点火スイッチが押された状態でパッカー車から出してきました。



▲作業員がパッカー車から燃えているごみを引き出します。



▲消防隊員も駆けつけての消火活動。

新庄市表彰功労章受賞者

市は昭和39年から政治、経済、文化などさまざまな分野で市政の発展に功労のある方を表彰しています。



産業・経済功労
押切 六郎さん
(本合海／大正十二年生まれ)

文化・観光資源として最上峡の可能性に注目し、日本三大急流の一つ「最上川」の豊かな自然・歴史・文化を素材とする観光開発に精力的に着手しました。

全国に先駆けて“雪見舟”を運行するなど、「最上川舟下り」を県を代表する観光資源の一つに発展させるとともに、新庄観光協会会長として36年の永きにわたり本市観光の振興に努めました。特に、山形新幹線新庄延伸にともない、最上川舟下りと本市観光の連携に尽力し、魅力ある観光地づくりに貢献しました。新庄商工会議所常議員にも就任し、自らの体験を踏まえた先進的な提言は商工会議所活動に多大な影響を与えました。

地域の伝統・文化の掘り越しや各種イベントの開催にも情熱を持って取り組むなど、広い視野を持った活動は県全体の観光振興にも大きく寄与しています。



教育・文化功労
大友 義助さん
(北町／昭和四年生まれ)

県内における高校教育の充実向上に情熱を注ぐとともに、新庄・最上地域の歴史や民俗の調査に傾倒し、その研究を基に、市教育委員会が発行した多くの出版物の執筆・刊行に尽力し、市の伝統文化の周知に大きく貢献しました。特に、17年度完了した新庄市史編さん事業では、26年にわたる事業期間中、常に中心的な役割を担ってきました。

民話の普及においても、新庄・最上地域の民話・伝説を後世にも残していきたいと採話し、新庄民話の会初代会長として昭和61年に「みちのく民話まつり」を開催するなど、“民話の里・新庄”の名を全国的に知らしめる礎となりました。

また、県文化財保護審議会会長をはじめとして各種審議会委員を歴任し新庄・最上地域のみならず県全体の文化財の発掘・保存に尽力しています。

いきいき健康づくり新庄21 (循環器病・糖尿病編)

～メタボリックシンドロームを知っていますか?～

◎健康課健康推進室 ☎内線513

最近、気になるお腹のでっぱり・・・その正体は内臓脂肪です。メタボリックシンドロームはこの内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、高脂血症をあわせ持った状態のことをいいます。

怖いのは、1つひとつの症状は軽度でも、相乗効果により動脈硬化などが急速にすすんでしまうことです。

メタボリックシンドロームの診断基準

- **腹 囲**…男性＝85cm・女性＝90cm以上
(“へそ”の高さで測ります)
+ (次のうち2項目以上該当)
- **高血糖**…空腹時血糖値が110mg/dl以上
- **血圧高値**…収縮期血圧が130mmHg以上
または拡張期血圧が85mmHg以上
- **高脂血**…中性脂肪が150mg/dl以上
またはHDLコレステロール値が40mg/dl未満

まずは内臓脂肪を減らそう

メタボリックシンドロームは内臓脂肪の蓄積という冰山の上に、高血糖、高血圧、高脂血症などの氷の岩が伸びている状態です。個々の病気を治療していくより、おもとの内臓脂肪の蓄積を減らすことが根本的な解決となります。

内臓脂肪は皮下脂肪にくらべて運動や食事の見直しなどにより減らしやすい特徴があります。お腹まわりが気になりだしたら、生活習慣を見直してみましょう。

運動習慣チェック

- 1年以上継続している運動習慣がない
- 1日の歩行時間は1時間未満だ
- 同世代の同性の人と比べて歩く速度が遅いほうだ
- 仕事や家事でこまめに体を動かすほうではない
- 近場でもすぐ乗り物に乗ってしまう

食習慣チェック

- 早食い・ドカ食い・ながら食が多い
- 朝食を抜くことが多い
- 夜食や間食が多い
- 肉類など脂っこいものが好きで、野菜はあまり食べない
- お菓子や甘い飲み物は毎日欠かさない
- ほぼ毎日飲酒する

一般健康相談へどうぞ

健診結果の相談やご自身の生活習慣改善など、お気軽にご利用ください。

- **とき** 毎月第1・3金曜日午前9時～午後3時(昼を除く)
- **ところ** 保健センター

▼下の段の右から2番目がメ治さん



丸出しで師匠の門をたたきました。なまりのためその場で断わられましたが、それから一年をかけて標準語

半年ぶりに新庄へ帰りました。もろろん仕事です。昨夜は、高校時代の同級生がやっているビアガーデンの余興。今日は、最上町の某お寺での落語会です。地元へ帰るといつも思い出すことがあります。新庄弁

×月×日
埼玉県の千間台へ。毎年四月と十月に開催される商店会主催の祭りの司会に行きました。祭りと言えは「新庄まつり」ですが、もう何十年も見ていません。今年こそ行ってみようと思いつく焼きソバやいかの店から匂ってくる焼きソバやいかの丸焼きのにおい。あーなつかしいな。

私の江戸日記

◆新庄藩江戸家老 柳家メ治さん
(落語家)

×月×日
に直し再度アタックしたらOK。昭和四十八年四月二十日の出来事です。

×月×日
大変にお目であつた一日です。弟子の真打ち昇進記念公演へ出演しました。わたしの師匠柳家小三治一門は九名です。一門勢ぞろいで口上。落語界では、真打ちは一人前です。わたしも彼に負けないように、初心にもどって頑張ろう。新庄の皆さん応援してくださいネ。

×月×日
十年続けて出演している福祉作業所での落語会です。身体の不自由な皆さんが、わたしが高座へ上がるたびに「待ってました」。芸人冥利につきます。来年も必ず行きます。

×月×日
足立区の小学校での公開講座へ。師弟関係のお話です。何か大切なものを失った何十年間だと思えます。親と子、人と人。わたしの講演が少しでも役に立てたらと思います。新庄に生まれ育ったわたしです。少年時代にもどって無邪気にこれからの人生を楽しみたいと思う今日この頃です。

いきいき
新庄人

スノーボードで雪を楽しむ

したら たくや
設楽 拓也さん(鳥越)

「もっともっと練習して将来的にはプロのライダーとして活躍したいです」と語る設楽さんは、新庄東高校に通う高校3年生。

「スノーボードを始めたのは小学5年のときです。スキー場で気持ちよさそうに滑っているスノーボーダーを見て自分もやってみたくて思いました。始めはうまく滑れませんでした。友だちや先輩たちと一緒に滑っているうちに上達し、ジャンプなどいろいろな技にも挑戦できるようになりました。

練習はほとんど毎日。郡内や県内のスキー場に行って練習しています。練習はハードですが、友だちや先輩たちと楽しみながら続けています。夏場は、スケートボードで“すぽーていあ”の屋外練習場などでスノーボードを意識して練習しています。

高校に入学して自分の力を試してみたいと思うようになり、JSBA(日本スノーボード協会)主催の競技大会にエントリーしました。種目は、“スロープスタイル”。雪でできたジャンプ台だけでなく、コース上に設置された鉄

製のレールや箱など使ってその上を滑ったりジャンプしたりしてその技術を競う競技です」

設楽さんは、高校1年のときに出場した東北大会で準優勝、全国大会で7位入賞、昨年の東北大会では優勝、全国大会でも5位に入賞しました。

「オリンピック正式種目の“ハーフパイプ”などに比べると“スロープスタイル”は一般的にはあまり知られていない種目ですが、基本的な滑走技術からジャンプなど総合的な技術が必要で、とても奥が深く面白い種目だと思います。コース取りや技の組合せが重要なポイントになります。イメージどおり滑れたときは本当に気持ちがいいです。さらに練習を重ね技に磨きをかけていきたいです。

社会人になっても、働きながら競技を続けたいと思います。雪はマイナスのイメージが大きいですが、楽しみ方もいろいろあると思います。スノーボードに限らず、多くの人に雪を楽しんでもらいたいです」と設楽さんは、爽やかな笑顔で話してくれました。



聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲雪不足で開場が遅れた市民スキー場。待望のオープンに雪の感触を楽しむスノーボーダー(1月1日/市民スキー場)



▲分列行進・祝賀放水などを披露した市消防団出初め式(1月7日/駅前通り~市役所前)



▲雪害調査所における雪の研究とその成果
(18年12月2日~19年3月31日/雪の里情報館)



▲18年度雪国ギャラリー出展記念逸品展
(1月13日~31日/雪の里情報館)



▲2007新春初おどりとお楽しみ会
(1月7日/ゆめりあ)



▲福宮自治会がコミュニティ助成で整備した除雪機

市民スキー場で楽しもう!

開場から7シーズン目を迎えた市民スキー場。今年は例年になく雪不足で12月に予定していたオープンが1月に延期。オープン初日となった元日は無料開放され、待ちわびたスキーヤーやスノーボーダーが久しぶりの雪の感触を楽しみました。スキー場の営業は2月末日まで。最終日(2月28日)は無料開放します。

消防団出初め式

市内の消防団員や最上広域消防本部職員、市の関係者など総勢500人が参加して正月恒例の消防出初め式が行われました。団員たちは駅前通りで威風堂々とした分列行進を披露。また、市役所前では消防車6台を連ねて祝賀放水を行いました。参加者たちは、地域の防災を担う決意を新たにしました。

個性が光る逸品の数々

今年度雪の里情報館雪国ギャラリーに展示されてきた、アートクレイシルバー、モダンビーズアクセサリー、つる細工、ドールハウス&ミニチュアクラフト、手づくり石けんを一堂に集めた作品展を開催しています。会場を訪れた子どもたちは、細やかな作品それぞれに、驚きながらもじっくりと見入っていました。

宝くじの助成金で整備

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、地域の社会活動に助成を行うものです。福宮地区自治会は、今年度コミュニティ助成事業の助成金を受けて次の事業を実施しました。

●助成対象 除雪機の整備

●助成額 190万円

※コミュニティ助成事業を実施したい自治会・町内会などは、政策経営課にご相談ください。☎内線242



栄光をたたえて

■平成18年中に叙勲等の栄に浴された方
【教育功労】石川巖(城西町)瑞宝双光章
【鉄道業務功労】矢口力(若葉町)瑞宝单光章
■第58回最上学童展

特別賞【小学生／平面】植木涼太(昭和)高橋昇大(新庄養護)須田悠太(升形)高橋麻里奈(本合海)伊藤秀太(山屋)

【小学生／立体】鈴木蓮人(沼田)

【中学生／平面】井上優美子(明倫)

【中学生／立体】師大希(明倫)

奨励賞【小学生／平面】新田唯(泉田)山科龍矢(新庄)武田栞(新庄養護)佐藤貴子(新庄養護)横山冴香(養護学校)浅井大輝(新庄養護)笹原大地(新庄養護)佐藤歩(日新)奥山夏樹(日新)伊藤成美(沼田)高橋紗也佳(沼田)大澤怜(沼田)指村茉寛(萩野)阿部咲良(萩野)鈴木大貴(北辰)阿部瑞生(北辰)阿部樹来(北辰)斎藤汰太(本合海)柳生梨乃(本合海)押切拓海(山屋)

【小学生／立体】富田雄希(新庄)山科龍矢(新庄)今野直道(新庄養護)佐藤大樹(日新)阿崎時生(日新)斉藤美穂(北辰)京野大地(本合海)

【中学生／平面】斎藤大介(新庄養護)西塚拓也(新庄養護)山科彩葉(日新)高橋克成(明倫)柳沼茜(八向)

【中学生／立体】樋渡薫(八向)

佳作【小学生／平面】伊藤恭亮(泉田)柿崎和成(泉田)石井菜々子(昭和)渋江七彩(新庄)今田悠人(新庄養護)佐々木栄光(新庄養護)滝口智也(新庄養護)柴田悠生(新庄養護)横山冴香(新庄養護)小林祐大(新庄養護)柏木樹(日新)矢口和佳奈(日新)五十嵐直人(日新)高山莉菜(日新)信夫梨花(日新)芦原美咲(日新)早坂榛夏(日新)津田拓海(沼田)三原諒(沼田)井上直道(沼田)高山慎平(沼田)有川穰(沼田)平良木夏美(沼田)高橋未来(升形)青柳佑香(本合海)齋藤弘毅(本合海)元木祐輔(本合海)

【小学生／立体】阿部大樹(泉田)中村峻(昭和)中山彰(新庄養護)松田佳悟(日新)矢口達揮(日新)大内涼雅(日新)三浦元広(日新)加藤翼(日新)門脇壮(日新)菊地塁(沼田)松田宏成(萩野)押切彩乃(山屋)

【中学生／平面】大泉かおり(新庄)小野ちひろ(新庄)小野正仁(新庄養護)大沼愛衣(新庄養護)小國優貴(新庄養護)江口梨菜(新庄養護)川瀬菜緒(日新)沼澤美成(日新)奥山麻美(萩野)叶内祐香(萩野)奥山舜一郎(萩野)山本輝(萩野)三宅佑季(明倫)今田隆介(明倫)田崎



▲新庄・沼田・日新小各合唱部も参加した新庄少年少女合唱団第16回演奏会(1月27日/市民文化会館)



▲民具の世界その3「究極の循環系、ワラの文化」(18年11月15日～19年3月31日/ふるさと歴史センター)



▲中部保育所の「お神楽」披露(1月12日/中部保育所)



▲南部保育所の「なし団子飾り」(1月12日/南部保育所)

弘人(明倫)松田幸子(八向)

【中学生／立体】奥山翔太(新庄養護)松田健吾(日新)竹中祐太(明倫)松田梨奈(八向)

■県障害者スポーツ競技大会

【水泳】25m 背泳ぎ①松田美佐子(鳥越) **25m 自由形**①早坂暁子(小田島町) **50m 自由形**①松田美佐子(鳥越)②早坂暁子(小田島町)

【卓球】上肢の部③岸田一男(下金沢町)

■新庄ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト

最優秀賞伊藤未来(日新小) **優秀賞**佐藤綾乃(日新小)蛇塚優佳(升形小)五十嵐理紗子(日新中)渡部梨華(萩野中) **優良賞**鶴巻知子(新庄小)井上涼夏(新庄小)山下裕作(新庄小)柴田笙子(新庄小)佐藤清華(萩野中)



ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

市民スキー場は2月28日まで

最終日は「お客さま感謝サービスデー」。
無料開放日ですので、ぜひお越しください。

※降雪量などゲレンデ状況により閉鎖となる場合もあります。

◎市民スキー場 ☎25-3915

体験農園 みそづくり教室

▼とき 3月3日(土)午前10時
〜正午

▼ところ 空蔵四季の家

▼参加費 2,000円(製品量約7kg) ▼定員 先着50人

▼申し込み 2月19日(月)から農林課へ

※1人1口限定です(家族参加の場合も1口)。

問 農林課農林振興室

☎内線 269

19年度新庄市 交通災害共済

交通災害共済は、市民の皆さんが会費を出し合い、交通事故にあった場合に見舞金を支給する「たすけあい」の制度です。

▼年会費 大人350円、中学生以下300円

▼申込用紙 3月上旬に区長を通じて全戸配布します。

問 環境課消防交通室

市民球場・武道館 定期使用の調整会議

▼利用期間 4月〜10月

▼申し込み 2月28日(水)まで

▼調整会議 武道館/3月8日(木)、市民球場/3月9日(金)

いずれも午後6時から体育館役員室で

問 市民球場

☎23-7666

すばーていあ 定期使用の調整会議

▼利用期間 4月〜10月

▼申し込み 2月25日(日)まで

▼調整会議 3月6日(火)午後6時からすばーていあ会議室で

問 都市整備課整備管理室

☎内線 528

ふれあい看護体験 参加者募集

▼対象 高校生

▼体験施設 5月8日/県立新庄病院(看護職希望の高校生15人)、5月9日/新庄徳洲会病院(高校生10人)

▼申し込み 2月19日(月)〜2月28日(水)各高校へお申し込みください。

問 山形県看護協会

☎023-685-8033

19年度学童保育所 入所児童募集

▼対象 小学校1〜3年生までの下校後に留守家庭の児童

▼保育所名 中央学童保育所(堀端町)、日新学童保育所(鳥越) ▼定員 各60人

▼保育料 月額6,500円(児童1人あたり)

▼受付期間 2月9日(金)〜2月23日(金)

問 児童課

☎23-7666

第19回新庄市高齢者友好の旅

○とき 6月8日(金)〜11日(月)
○行き先 層雲峡、博物館網走監獄、知床めぐり遊覧船、摩周湖、阿寒湖ほか
○料金 69,800円 ○定員 先着45人
○申し込み 3月30日(金)まで申込金を添えて各クラブの会長または役員へ
◎詳しくは、新庄市老人クラブ連合会へ。
☎23-4613

問 新庄市社会福祉協議会

☎22-5797

遊学の森で 雪遊びを満喫

▼とき 2月18日(日)午前10時〜午後2時30分

▼内容 イグルーづくりで餅焼き体験、スノーモービル体験

▼参加費 大人1,000円、子ども500円(おにぎり、入浴券付き) ▼定員 30人

問 遊学の森

☎64-3305

ちびっこ探検学校 ヨロン島参加者募集

▼対象 小学校2〜6年生(先着400人) ▼とき 3月27日(火)〜4月2日(月)

▼ところ 鹿児島県大島群島

論島 ▼内容 在日外国人小学生と交流活動、海水浴、イカダ

平成19年度国民年金保険料と 口座振替割引額について

平成19年度の国民年金保険料は14,100円(年額169,200円)になります。口座振替で1年前納する場合は年額3,550円、現金払いによる1年前納では年額3,000円安くなります。

○口座振替新規申し込み 2月28日(水)まで基礎年金番号がわかる書類、通帳、金融機関届出印を持参して社会保険事務所または金融機関へ

※3月以降の申し込みは社会保険事務所にご相談ください。
◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金室 ☎内線134へ。

とっておき体験 モニターバスツアー

○とき 3月4日(日)午前8時40分 新庄駅東口出発〜午後3時解散

○コース 金山町「暮らし考房」スノーハイク〜「谷口がっこそば」昼食と一口くじら餅づくり
○持ち物 防寒具、長靴、手袋、タオル
○参加費 2,500円(小学生以下2,000円/体験料、昼食代など)

○定員 20人
○申し込み 2月26日(月)まで
◎詳しくは、最上総合支庁商工労働観光課へ。 ☎28-1534

ISO 14001
YBS ビルディング総合管理
EJ01093/ISO14001-2004
山形ビルサービス
株式会社
新庄営業所 〒996-0041 新庄市大字鳥越字熊ノ沢1498-15 TEL23-1205
本社/山形 支社/仙台・庄内 営業所/米沢
よりよい環境づくりを目指して
YBS企業グループ ■(株)東北レンタル ■(株)テトラス ■山形警備保障(株)

ふとんの宮城
就進学フェア開催中
—新生活を応援します—
羊毛混織布団や羽毛羊毛3点セットなど50組店内展示中!! ¥16,800より
お部屋を広く使える収納ベットリクライニングベット ¥20,790より
※お買い上げの方には、粗品贈呈致します。ご来店お待ちしております。
新庄市大町3-38TEL23-1717

ベビーショップミヤギ
入園・入学フェア
BeBe・プリュイアンなど人気ブランドのかわいいスーツ大集合!
ランドセルや通園バック他かかせないアイテムも豊富に取り揃えております。
◆フォトスタジオミヤギ◆
入園・入学記念撮影承ります。
尚、レンタル用振袖及び袴あります。
卒業式や謝恩会にどうぞ!
新庄市大町3-37TEL22-0664



2月のお・知

相談など

3月の市・県民税申告相談

3月15日までの申告期間中は、担当職員(申告資料も)が申告会場にいくため市役所での申告相談はできません。どうぞご協力ください。

- 会場 市民文化会館小ホール
 - 受付時間 午前9時～午後3時
 - 1日(木) 梅ヶ崎、一本柳、中山、本町、堀端町
 - 2日(金) 太田、荒小屋、高壇、北新町、北新町団地
 - 5日(月) 木栄町、栄町、落合町、冷水沢、小泉、北町
 - 6日(火) 住吉町、上西山、滝ノ倉、円満寺町、沖の町
 - 7日(水) 小月野、月岡、西町、川西町
 - 8日(木) 万場町、東本町、沼田町
 - 9日(金) 上・下山屋、常葉町
 - 12日(月) 石川町、明倫通り、三本橋
 - 13日(火) 茶屋町、上茶屋町、中道町
 - 14日(水) 宮内町、中山町、東天町
 - 15日(木) 新町、千門町
- ◎詳しくは、税務課課税室へ。
☎内線142・143

「ちゃれんこ」第5回公演

- とき 2月18日(日)午後2時開演
 - ところ 市民文化会館大ホール
 - 内容 第1部/ダンス!ダンス!ダンス!、第2部/創作民話劇「忍者の谷の物語」
- ◎入場無料です。詳しくは、ちゃれんこ事務局・樋口へ。☎080-1808-5149

「産直まゆの郷」ひなまつり

- とき 2月25日(日)
午前9時30分～午後6時
 - 内容 旬野菜、花、農産物販売、先着200人に桃の花プレゼント、焼きおにぎり屋台など
- ◎詳しくは、産直まゆの郷☎23-5007、農林課バイオマス推進室☎内線267へ。

7月28日から29日の2日間、西川町の寒河江ダム周辺を会場に「森と湖に親しむつどい2

月山湖サマーフェスタ キャッチコピー募集

全国どこでもだれでも学べる通信教育です。
▼募集科 ①高等学校(普通科、選科) ②専攻科(社会福祉コース) ③生涯学習通信講座(趣味、資格など) ▼募集期限 ①4月20日 ②3月1日 ③随時

☎NHK学園(資料請求)
☎0120-06-8881

福祉サービスに関する 苦情相談

福祉サービス苦情相談センターやまがたでは、福祉サービスに関する苦情や相談を受け

007月山湖サマーフェスタが「ブナ林が育む悠久の想い、清らかな水と大切な生命を未来へ」をテーマに開催されます。このイベントを全国にPRするため会場周辺の雄大な自然と地域の魅力が伝わるキャッチコピーを募集します。

▼応募先 ホームページ <http://www.morinizu2007.com>
Eメール sggae@morinizu2007.com、ファクス023-625-3024、郵送〒990-8691山形中央郵便局私書箱第53号

☎寒河江ダム「森と湖に親しむ旬間」全国行事現地実行委員会事務局
☎023-625-3024

交通遺児育成基金フリーダイヤル
☎0120-16-3611

交通遺児育成基金は、満13歳未満の交通遺児が損害賠償金などの中から拠出金を支払い加入すると、国民間からの援助金をくわえ、19歳になるまで長期にわたり定期的な遺児育成のための資金を給付する制度です。

▼拠出金 最高700万円
▼給付金総額 最高1,070万円(いずれも年齢によって異なります)

JR東日本山形支店
☎023-622-8977

冬期間、誤って線路内に入りました車と電車の衝突事故が発生します。踏切前では一旦停止し、降雪や吹雪で視界が悪いときは特に注意しましょう。

交通遺児育成基金の
ご案内

2月は「省エネルギー月間」

「雪下ろしでは電線に注意」

雪下ろしでは電線の引き込み線を切るなどの事故が発生します。十分にご注意ください。

2月は「省エネルギー月間」

限りある資源を大切にしましょう。地球温暖化を防止するため、エネルギーを大切に使う心がけましょう。

暮らしと電気の安全

雪下ろしでは電線に注意

雪下ろしでは電線の引き込み線を切るなどの事故が発生します。十分にご注意ください。

2月は「省エネルギー月間」

限りある資源を大切にしましょう。地球温暖化を防止するため、エネルギーを大切に使う心がけましょう。

踏切での事故に注意

冬期間、誤って線路内に入りました車と電車の衝突事故が発生します。踏切前では一旦停止し、降雪や吹雪で視界が悪いときは特に注意しましょう。

新庄が好き！人が好き！

元祖 あじさい 新庄の花

(有)新庄の菓匠 たかはし 新庄市住吉町 TEL (22) 4080

「大人がはぐくむ子どももの心」

市が平成十七年度に策定した「いのち輝く新庄 もみの木教育プラン21」の具現化は、学校教育だけで目指すものではありません。家庭、地域、学校において、人づくりを支える大人の役割が強く求められています。

「子育ての現場から」

暖かい家庭の中で愛情を

「三つ子の魂百まで」と、ことわざにもあるように、人生の基本となる部分は、乳幼児期にできあがります。母親べったりで手のかかる時間は、人の人生から見るとほんの短い時間です。この間にたづねりと愛情をかけて育ててほしいと感じています。決して時間的なことではなく、密度が大切です。

仕事で疲れて愛情なんてかけているひまがないと言わずに、寝る前のちよつとした時間や家事の合間に、しっかりと子どもを抱きしめてあげましょう。家族、特に母親は子どもの心のよりどころです。困ったときは、母親の元に戻っていきたいのです。いつでも、子どもを受け止めてあげたいものです。子どもは家庭の中で育ちます。できるだけ温かい雰囲気の中で育ててあげたいものです。また、育児の責任を母親だけに押しつけるの

ではなく、家族みんなで分担しましょう。時には祖父母や友だち、知り合いの力も借りるなど、みんなに助けをもらいましょう。

食の大切さ

いつも手作りの物をとっているのでありません。時にはスーパーから買った物や店屋物でも良いではありませんか。おにぎり一個でも、一緒に食べる楽しさは、何ものにも替え難いものです。一緒におやつを作ったり、食事の準備を手伝ったりすることによって、おいしさが心に残るものです。

子育てを楽しみましょう

子育てを大変なものだと考えずに、子どもと一緒に楽しみましょう。カルタやボール遊びなど、何でも良いのです。時間の許すときは付き合ってください。約束してからはじめどきまでと約束してから始めることが大切です。



教えて欲しい大事な

どんなことをすると他の人の迷惑になるのか、命が危険かなどについて、しっかりと教えましょう。この二つについては、約束を守れないときは、叱っても良いと思います。叱るときには、「先生に叱られるから」と言わずに、どうしていけないのか理由を伝えることが大切です。そして、「ありがとう」や「ごめんなさい」の言える子どもを育てていきましょう。

子育て支援センターでは、「あそびの広場」を通して、子育ての輪が広がっています。お母さん同士でおしゃべりしているうちに、子育てのヒントが見つかるかもしれません。何でも話すことで、息抜きやストレス解消につながります。

子育て中の皆さん、「あそびの広場」に参加し、一緒に子育てを楽しみましょう。(子育て支援センター)

新庄の歴史

こぼれ話

日光東照宮に寄進された

戸沢氏の石灯籠

江戸時代を通じて最上郡内を(村山郡の一部も)治めた新庄藩主・戸沢氏の遺物は、瑞雲院・桂嶽寺にある歴代藩主の墓所(国指定史跡)や、鳥越八幡神社(重要文化財)、天満神社(県指定文化財)などをはじめ、この地方には数多く残っているが、山寺(山形市)・日光東照宮(栃木県日光市)・高野山(和歌山県)などにも戸沢氏関連の貴重な遺物が現存している。

日光東照宮境内に残っているのは、新庄藩祖・戸沢政盛が寄進した石灯籠である。寄進した年は元和三年(一六一七)で、新庄に入る五年前の、高萩松岡領主時代のものである。この年、徳川家康を祭る日光東照宮が二代目将軍・秀忠によって創建されるが(現存の東照宮は、それから約二十年後の寛永十三年に、三代家光によって大改修されたものである)、戸沢政盛は、幕府からその日光東照宮御廟造宮の手伝いを命じられた。政盛は、家臣の戸沢甚兵衛・村越伝右衛門・長浜内蔵助らを派遣してこれに当た

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『時代考証おもしろ事典』

時代考証家 山田順子 著

この本を読むと映画やテレビの時代劇がもっと楽しめそう。今話題の「大奥」、大奥三千人というのは本当?一豊の名馬は本当に千代の持参金で買ったの?秀吉が懐で温めた草履に信長が気付いたのは素足だったから?などなど。



● 今月のテーマ展示 ●

「猫」

作家に猫好きが多いのは、よく知られているところです。図書館には作家が愛猫について書いた随筆、猫が主題になった本がたくさんあります。今月は「猫」がテーマの展示です。冬本番、あたたかいお部屋で図書館の猫の本をどうぞご覧ください。

新着図書

- ◆くまのしんぶんぎしゃ……………いもと ようこ
- ◆ねぼすけチャーぼ……………田原 ウーコ
- ◆ショベルカーのスクープくん…ディビッド・ワトピツ
- ◆ももんがモンちゃん……………とりごえ まり
- ◆とりになったはっぱのはなし…今西 祐行
- ◆水底の光……………小池真理子
- ◆雷神の筒……………山本 兼一
- ◆アナンシの血脈 上・下……………ニール・ゲイマン
- ◆冷たい熱帯魚……………檀 れみ
- ◆見えない誰かと……………瀬尾 まいこ
- ◆ダナエ……………藤原 伊織
- ◆軍師 山本勘助……………笹本 正治
- ◆三日月が教えてくれたコト…大和 達也
- ◆ハンプティ・ダンプティは塙の中…蒼井 上鷹
- ◆貧困の光景……………曾野 綾子
- ◆ガリレオの小部屋……………香納 諒一
- ◆まとい大名……………山本 一力
- ◆恋愛王国オデパン……………藤本 ひとみ
- ◆斉彬に消された男……………台明寺岩人
- ◆最愛……………真保 裕一
- ◆北リアス線の天使……………西村京太郎
- ◆私の名前はキム・サムスン 上・下…チ・スヒョン
- ◆ひとりたび1年生……………たかぎ なおこ
- ◆テロルの真犯人……………加藤 紘一
- ◆オカン、おふくろ、お母さん…文芸春秋
- ◆トリックスターから、空へ……………太田 光
- ◆着物中毒……………中島 梓
- ◆野の花の入院案内……………徳永 進
- ◆よくわかる離婚時年金分割…みやはら たえ
- ◆毎日の暮らし歳時記……………岸本 葉子
- ◆みんなを呼ぶ日のごちそう…主婦の友社
- ◆昭和暮らしの知恵袋……………海老名香葉子

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日
- ◎市立図書館 ☎22-2189

萩野小学校特産2006伝説米!

～一生懸命作った「もち米」完売しました～



▲泥まみれになりながらの田植え (5月23日)

萩野小学校では毎年五年生が、総合的な学習の一環として「稲作」に取り組んでいます。今年度は学校創立百三十周年の記念の年。伝説に残るようなおいしい米にという思いを込めて「二〇〇六伝説米」と名づけ、五年生十九人が協力して学校田での稲作を体験しました。



▲かまを使って手刈りした稲刈り (9月23日)

春には、種もみの井だし、種まき、たい肥まきを行い、わく付けをしてから手作業で田植えを体験。農薬を使わず、アイガモ農法で育て、秋には実った稲穂をかまを使って稲刈り。刈り取った稲はプールの柵を利用して自然乾燥させ、足踏み脱穀機での脱穀やとうみをを使った選別など昔ながらの方法を



▲大きな声で呼びかけて自慢の米を販売 (1月20日/ゆめりあ)

学びながら収穫を喜びました。十一月の学校祭で保護者と餅つきをして味わったあと、自慢の伝説米をもっと多くの人にも味わってもらいたいとゆめりあで販売しました。子どもたちの元気な呼び掛けで約三十分ほどで完売。子どもたちは「大変だったけど、全部売れてうれしい」と大喜びでした。

せ、また、自らも出向いて工事を指図した。この折に、石灯笼を寄進したのである。

それは、陽明門の西前方、神既舎(見ざる、言わざる、聞かざる)の三猿の彫刻のある建物)の向かい側で、十数基立っている石灯笼のひとつである。刻まれている文字はかなり磨耗し判読しにくい、裏面には「元和三丁巳年四月十七日 常州多珂郡松岡領主 戸沢右京」と刻まれている。「右京」は政盛のことである。

日光に行く機会があったら、三百年前に寄進されたその石灯笼もぜひ見ていただきたい。

(生涯学習課)

かつろく思い出の四季

雪まんじゅうつくり



女の子たちの、冬のあそびのひとつに、雪まんじゅうつくりがある。

冬には、とかく陽に恵まれない当地では、二月ともなると、時折の日差しがほんとうにうれしい。こどもたちも、暗い部屋から日光を求めて飛び出し、隣所の友だちも呼んでくる。

小さな『かいす

き』で雪を叩いて、平らな台をつくる。それぞれかあさんにお願ひして、盃や皿、茶わん、へらなどを借りてくる。

器に雪を入れへらで叩く。台の上にトンと伏せると、まんじゅうの型ができる。図画用の絵具を溶いて、筆で色をつける。大小思い思いの色のまんじゅうが、いくつもできる。

門口に、昨日つくった雪だるま。少し傾きながら、こどもたちの雪まんじゅうつくりの手さばきを、静かに見ている。

絵||三条正美、文||笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

見・所・探・訪

上茶屋町出世稲荷神社



上茶屋町のほぼまん中ごろ、通りの東側にたくさんの赤い鳥居が並び、出世稲荷が鎮座している。その昔、ある小僧が出世したくて、一生懸命働きながらこのお稲荷様に百日参りをして願いがなかったといわれている。このお稲荷様は、お参りすれば立身出世疑いなしというありがたい神様だが、これは一生に一度だけで、二度目は保証してくれないそうである。ついで参りはもちろん御利益がない。ここが建てられたのは、昔、酒の好きなあるお寺の和尚さんが、酔っぱらってここを通るとき、よく緋(紅色)の衣を着た和尚さんに呼び止められることがあった。これは狐が和尚の姿に化けて出てくるのだと思い、和尚さんはここにお稲荷様をまつたのだといわれている。

表紙の写真

泉田パワーここに集結!

~第9回泉田フェスティバル~

泉田地区の人たちの手づくりによる泉田フェスティバルが開催されました。幼児から高齢者まで150人以上が参加し、太鼓や新庄まつり囃子の演奏、素人演芸、民謡・民舞、昔語りなど日ごろの活動の成果を披露。泉田小6年生が演じたユーモアあふれる創作民話劇で会場は笑いに包まれ、子どもたちへ盛んな拍手が送られていました。



12月末現在の新庄人

40,580人(40,900人)

女	21,120人(21,280人)
男	19,460人(19,620人)
世帯数	13,456世帯(13,437世帯)

12月の異動

出生	27人(27人)
死亡	46人(35人)
転入	68人(62人)
転出	77人(77人)

※()は1年前の住民基本台帳